

# 就農応援隊が農業を始めたい人を応援します ～地域で支え、未来へつなぐぎふの農業～

清流の国ぎふ  
マスコットキャラクター  
ミナモ



清流の国ぎふ  
ミナモ通信

新たな農業の担い手が増えている岐阜県。新規就農者が担い手として活躍するには、地域全体での後押しが不可欠です。

そのため、農業関係者以外の金融機関、商工団体、民間企業などが協力して「就農応援隊」を結成。就農応援隊と関係者が一体となり、農業と生活の両面で新規就農者をサポートしています。地域の皆で次代の農業や農村を担う新規就農者を応援していきましょう！

■問／県農業経営課 ☎058(272)8421



## 新規就農者を徹底サポート！ 就農応援隊が各地域で活躍中

### 中濃就農応援隊



白川町商工会  
鈴木寿一さん

白川町・東白川村では夏秋トマトの生産者31戸のうち、14戸が地域外の出身です。産地を守る移住者の皆さんを地域全体で支える仕組みをつくらうと、中濃就農応援隊のメンバーも加わり、今年5月「美濃白川就農応援会議」を結成しました。応援会議は各構成員の強みを生かし、長谷川さんをはじめとする新規就農者をしっかりとサポートしていきます。

家庭菜園で野菜を育てる楽しみを知り、愛知県犬山市から夏秋トマトの産地、東白川村へ家族で移住。妻は地元生産者のもとで研修を受け、私は村の第3セクターのトマト生産部門で働きました。そこで、栽培のノウハウを学べたことがありがたかったです。近所の方たちも温かく迎えてくれたおかげで、今年4月からトマト農家として2人で独立できました。

### 新規就農者



東白川村へ移住  
長谷川太一さん家族

### 飛騨牛就農応援隊



(一社)岐阜県畜産協会  
山田英信さん

5年に1度、日本一の和牛を決める「全国和牛能力共進会」が今年9月に宮城県で開催されました。飛騨牛就農応援隊は大会を担い手育成の貴重な場と捉え、県内の畜産就農を考える生徒に視察研修の機会を提供。刺激を受けた参加者からは、「県の共進会に出場したい」など、意欲的な声が多数届きました。今後も若者が学ぶ機会を積極的に設けていきます。そして、夢に向かって努力する姿を発信し、県全体で応援する機運を高めていきたいです。

獣医や研究員など、生産者をサポートする仕事に就きたいと考えています。学校では乳牛を育てているので、肉牛についても知りたいと、「全国和牛能力共進会」の視察研修に参加しました。高校の部(復興特別出品区)では、どの牛も一目見ただけでよく手入れされているのが分かりました。飛騨高山高校が日本一を獲得するのを見たときは、感動しました。生産者の牛にかける情熱を感じた今回の研修で、畜産に携わりたいという思いがより強くなりました。

### 農業高校生



県立岐阜農林高校  
梅田稜さん

## 就農に関するお問い合わせは、ぎふアグリチャレンジ支援センターへ！

ぎふアグリチャレンジ支援センターは、個人の就農や農業法人への就業、企業の農業参入など、農業にチャレンジする方々や就農応援隊の活動をサポートする就農総合支援窓口です。

お気軽にご相談ください

- 農業の基礎を学びたい
- 農業を始めるためのステップを知りたい
- 農業ビジネスを始めたい
- 就農応援隊の活動について知りたい

■問／岐阜市藪田南5-14-12(県シンクタンク庁舎2階) ☎058(215)1550

今後の就農相談会

ぎふ就農・就業相談会

場所 OKBふれあい会館

期日 平成30年 1月20日(土)



ぎふアグリチャレンジフェア

場所 じゅうろくプラザ

期日 平成30年 2月25日(日)